

## 経営発達支援計画の概要

実施者名	上田商工会議所																																																																														
実施期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日																																																																														
目標	<p>管内小規模事業者に対する巡回指導や個別指導の強化により、経営上の課題や現状を把握、分析し、きめ細やかな伴走型支援体制による事業者の持続的な経営力強化を図ります。</p> <p>更に、創業、第二創業支援による新たな企業育成、雇用創出と、後継者育成、新たな地域ブランド商品・サービスの開発や販路の拡大等の支援により、地場産業の振興を図ります。</p>																																																																														
事業内容	<p>1. 地域の経済動向調査 地域内の経済動向の調査・分析を行うため、下記事業を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容</th> <th style="text-align: center;">回数(年)</th> <th style="text-align: center;">対象数(延)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業景況調査</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> <tr> <td>経営実態調査</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">400</td> </tr> <tr> <td>LOBO調査</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td>商店街通行量調査</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">(場所)26</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 小規模事業者の経営分析・需要動向調査 小規模事業者の経営状況の把握と現状分析を行うため、下記の事業を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容(年間)</th> <th style="text-align: center;">現状</th> <th style="text-align: center;">31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営指導員巡回訪問件数</td> <td style="text-align: center;">513</td> <td style="text-align: center;">600</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>専門家による相談件数</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> <tr> <td>需要動向調査件数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 事業計画の策定・実施支援 小規模事業者の事業計画を策定し事業実施支援を行うため、下記事業を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容(年間)</th> <th style="text-align: center;">現状</th> <th style="text-align: center;">31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー・説明会開催回数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>策定事業者フォローアップ件数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 創業・第二創業(経営革新)・事業引継ぎ支援 創業・第二創業並びに事業承継支援のため、下記事業を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容(年間)</th> <th style="text-align: center;">現状</th> <th style="text-align: center;">31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー・スクール等開催数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>創業支援者数</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>創業フォローアップ件数</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>第二創業(経営革新)相談件数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>事業承継個別相談件数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 小規模事業者販路開拓支援 小規模事業者等の販路開拓支援のため、下記事業を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">支援内容(年間)</th> <th style="text-align: center;">現状</th> <th style="text-align: center;">31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業展(商談会同時開催)開催件数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>展示会・ビジネスマッチング等出展者支援数</td> <td></td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>合同プレス発表会開催件数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>ITセミナー開催件数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>IT活用の専門家相談件数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	回数(年)	対象数(延)	中小企業景況調査	4	280	経営実態調査	2	400	LOBO調査	12	120	商店街通行量調査	2	(場所)26	支援内容(年間)	現状	31年度	経営指導員巡回訪問件数	513	600	経営分析件数	25	50	専門家による相談件数	150	300	需要動向調査件数	0	50	支援内容(年間)	現状	31年度	セミナー・説明会開催回数	3	6	事業計画策定事業者数	30	70	策定事業者フォローアップ件数	0	280	支援内容(年間)	現状	31年度	セミナー・スクール等開催数	3	4	創業支援者数	11	20	創業フォローアップ件数	11	20	第二創業(経営革新)相談件数	3	10	事業承継個別相談件数	1	10	支援内容(年間)	現状	31年度	産業展(商談会同時開催)開催件数	1	1	展示会・ビジネスマッチング等出展者支援数		20	合同プレス発表会開催件数	3	6	ITセミナー開催件数	1	2	IT活用の専門家相談件数	1	10
支援内容	回数(年)	対象数(延)																																																																													
中小企業景況調査	4	280																																																																													
経営実態調査	2	400																																																																													
LOBO調査	12	120																																																																													
商店街通行量調査	2	(場所)26																																																																													
支援内容(年間)	現状	31年度																																																																													
経営指導員巡回訪問件数	513	600																																																																													
経営分析件数	25	50																																																																													
専門家による相談件数	150	300																																																																													
需要動向調査件数	0	50																																																																													
支援内容(年間)	現状	31年度																																																																													
セミナー・説明会開催回数	3	6																																																																													
事業計画策定事業者数	30	70																																																																													
策定事業者フォローアップ件数	0	280																																																																													
支援内容(年間)	現状	31年度																																																																													
セミナー・スクール等開催数	3	4																																																																													
創業支援者数	11	20																																																																													
創業フォローアップ件数	11	20																																																																													
第二創業(経営革新)相談件数	3	10																																																																													
事業承継個別相談件数	1	10																																																																													
支援内容(年間)	現状	31年度																																																																													
産業展(商談会同時開催)開催件数	1	1																																																																													
展示会・ビジネスマッチング等出展者支援数		20																																																																													
合同プレス発表会開催件数	3	6																																																																													
ITセミナー開催件数	1	2																																																																													
IT活用の専門家相談件数	1	10																																																																													
連絡先	〒386-8522 長野県上田市大手1丁目10番22号 TEL: 0268-22-4500 FAX: 0268-25-5577 email: info@ucci.or.jp URL: http://www.ucci.or.jp/																																																																														

(別表1)

経営発達支援計画

経営発達支援事業の目標

(地域の強み):

現在、当地域の産業については、蚕都上田として発達した技術的基盤を基に輸送関連機器、精密電気機器などを中心とする製造業が地域経済を牽引しており、製造品出荷額等は4,146億円(平成22年)と県内上位に位置している。また、信州大学繊維学部や浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)などの知的創造拠点が整備され、企業の技術開発・異業種交流を支援している。

当地域は、歴史的資源、文化遺産及び観光資源に恵まれた地域であることが強みである。

上田地域の歴史的建造物として奈良時代には国分寺・国分尼寺が建立され、鎌倉時代に幕府の信濃守護職北条氏が居を構えた塩田平は「信州の鎌倉」といわれ、安楽寺の日本で唯一の木造八角三重塔(国宝)をはじめ数多くの文化財が残されている。戦国時代には真田昌幸により上田城が現在地に築かれ、城下町としての発達が始まった。

昨年5月、2016年のNHK大河ドラマで真田幸村を主人公とする「真田丸」の放送が決定した。当所では、上田市推進協議会との連携を取りながらプロジェクトチームを編成し、観光客の受け入れ態勢の強化に取り組んでいる。

上田市は東京から新幹線で1時間半程度の距離に位置しており、上田城公園では千本桜が咲き誇り、年間150万人ほどの観光客で賑わう。更に、2015年3月には北陸新幹線が金沢まで延伸され、交流人口の増加による経済効果が期待されている。

(地域の課題)

一方、少子高齢化社会の進展等により、売り上げは中・長期的に減少傾向にある。(参考図1)

商業では大型店の郊外出店が相次ぎ、中心市街地での経営環境は厳しく、商店数の減少、空き店舗が目立っている。

製造業では、グローバル経済の進展と共に生産拠点の海外シフトが進み、受注の減少、国内外の競争激化に直面している。

観光面では、軽井沢、長野市・善光寺等周辺競合地域が存在し、観光客がお金を使う魅力的な商品サービスが少なく、新幹線で上田駅に降りた観光客がそのまま観光バスで他地域に移動してしまうことが多い。また、「真田」は知られていても「上田」の知名度が低いことも課題となっている。

中心市街地及び小規模事業者においては、後継者不足といった課題を抱えている。

(参考図1) 商品販売額等の推移 (単位:億円)

	平成14年	平成16年	平成19年	平成22年	平成24年
商店数の推移 注1	2,207	2,129	2,008	-	1,865
商品販売額(卸・小売) 注1	4,529	4,224	4,631	-	3,595
製造品出荷額 注2	5,776	5,925	5,806	4,146	4,061

注1.資料:商業統計調査 注2.資料:工業統計調査

(目標)

上述のような地域の強み、課題を踏まえ、上田商工会議所は地域総合経済団体として地域や会員事業所、小規模事業者等に寄り添い、現状の把握と分析を行い、「上田」の持つ地域性、優位性に光を当てた地域活性化に繋がる活動を推進する役割がある。

こうした現状を踏まえ、上小地方事務所商工観光課、地域政策課、上田市地域政策局、商工観光部、長野県中小企業振興センター、AREC、その他金融機関等と連携して、特に地域を支える小規模事業者を中心に事業者の経営力向上、販路拡大等を継続して支援する。

具体的な施策としては、管内小規模事業者への巡回を5年計画で強化徹底し、事業者の現状と抱える問題を把握。さらに景況調査や市の行う経営実態調査、専門家派遣等の情報を所内及び

関係機関と共有して、きめ細やかな伴走型支援による小規模事業者の持続可能な経営力強化を図る。

また、上田市が国から認定を受けた創業支援計画に基づき、起業マインド育成から創業後の経営フォローアップまでのきめ細やかな支援を行い、市内経済を支える企業の育成、雇用の創出による地域経済の活性化を図る。

更に、後継者育成、歴史と観光の街をアピール、新たな地域ブランド商品(製品)・サービスの開発と販路拡大等の支援により、地場産業の振興を図る。

#### 経営発達支援事業の内容及び実施期間

(1) 経営発達支援事業の実施期間(平成27年4月1日～平成32年3月31日)

(2) 経営発達支援事業の内容

##### 1. 経営発達支援事業の内容

##### I. 地域の経済動向調査【指針③】

地区内の経済動向を調査・分析する管内中小企業に対する景況調査を継続的に実施し、小規

模事業者が直面している経済環境の状況、需要動向、その他外部環境に起因する経営上の問題点及びそれら諸課題への事業者の対応状況について実態を把握する。

更に、上田市が行う経営実態調査や地元金融機関等の経営調査結果も踏まえ、関係機関等と情報を共有し、小規模事業者の経営力強化等経営発達支援事業を推進する。

(事業内容)

- (1) 中小企業景況調査(実施主体:中小企業庁・独立行政法人中小企業基盤整備機構、対象事業所数 5業種※ 51社 年4回)、経営実態調査(実施主体:上田市、対象事業者数 4業種※ 176社 年2回)、商工会議所 LOBO 調査(対象事業所数 10業種組合・事業所 毎月)、中心商店街通行量調査(実施主体:上田商工会議所 13か所 年2回)について、経営指導員が当地域の事業所に調査票を配布し聞き取り調査を実施、経営実態を把握する。【指針③】
- (2) 加えて、信金レポート等地元金融機関等による経営調査結果等も参考にしながら、上田商工会議所として地域の経済動向を調査、分析し、管内小規模事業者に対する経営支援の対応策を検討、伴走型支援を行う。【指針③】
- (3) 調査結果や対応策等について、連携する行政や支援機関、地域金融機関と情報を共有し、管内小規模事業者等に対し、面的な経営支援ができる体制を構築する。【指針③】

(1) ※5業種…製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業

※4業種…建設業、製造業、卸・小売業、サービス業

(目標)

地域小規模事業者等の経営状況や業界における課題を調査、把握し、経営計画作成等の経営力強化支援に活用するため、下記の数値を達成する。

支援内容	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
中小企業景況調査 回数	4	4	4	4	4	4
件数	204	280	280	280	280	280
経営実態調査 回数	2	2	2	2	2	2
件数	352	400	400	400	400	400
LOBO 調査 回数	12	12	12	12	12	12
件数	120	120	120	120	120	120
商店街通行量調査 回数	2	2	2	2	2	2
場所数	26	26	26	26	26	26

## II. 経営分析・需要動向調査【指針①、③】

小規模事業者の持続的発展に向け、経営指導員の巡回・窓口相談、各種セミナーの開催等を通じて、小規模事業者の経営分析を行う。

長野県、長野県中小企業振興センター、長野県工業技術総合センター、長野県事業引継ぎ支援センター、長野県発明協会、地域金融機関、AREC のコーディネーター、中小企業診断士等専門機関等と十分な情報を共有し、小規模事業者が抱える専門的な経営課題等について、適切なサポートにより確実な問題解決を図る。

(事業内容)

- (1) 管内小規模事業者に対し5年間で計画的に訪問を実施し、経営発達支援事業を中心とした会議所の施策普及を行い、事業者の現況と経営課題を把握する。このため、経営指導員1人当たり年間600件以上の事業所巡回及び窓口相談等を目標とする。【指針①】
- (2) 地域の小規模企業・商工振興委員※を通じて、会議所の施策や支援事業等を周知し、より地域に密着した地域状況や小規模事業者等の課題、要望等の情報を収集し、地域に合った伴走型支

援策を検討する資料とする。【指針①】

- (3) 上記普及事業のため支援施策資料を作成し、会報の折込や各種セミナー・個別相談、経営指導員や振興委員による訪問時に活用する。【指針①】
  - (4) 経営指導員による巡回訪問や窓口相談の情報をカルテによりデータベース化し、所内で情報を共有し、伴走型支援に活用する。【指針①】
  - (5) 財務や金融関係の課題や、販路開拓、新商品・サービスの問題を抱える小規模事業者を経営指導員による巡回や窓口相談、個別相談等からピックアップし、課題克服のための経営分析を行う。
  - (6) 専門家による毎月開催の定例相談やワンストップ相談会(年3回)、なんでも無料相談会(年1回)で浮き彫りとなった小規模事業者等の抱える問題についてもピックアップし、連携する中小企業診断士や税理士等と情報を共有し、ミラサボ等の専門家派遣やエキスパートバンク制度等を活用し、経営的な指導、助言を行う。【指針①】
  - (7) 上記の結果を踏まえ、経営指導員によるフォローアップを実施する伴走型支援を行い、経営計画策定支援等に結び付ける。【指針①】
  - (8) 上記によりピックアップした事業者の商品やサービスの需要動向について、専門家や地域金融機関と情報を共有して、各商品・サービスの取引動向の調査・分析を行い、新商品・サービス開発や販路開拓等の事業計画策定に活用する。【指針③】
- (2) ※管内各地域の小規模事業者と会議所のパイプ役として活動していただく経営支援制度で、上田商工会議所には44名の振興委員があり、年4回(全体会議2回、ブロック別会議2回)を開催している。

(目標)

小規模事業者の経営状況の把握と現状分析を行うため、下記の数値を達成する。

支援内容	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
巡回訪問件数(指導員1人当たり)	513	530	540	570	600	600
振興委員連絡会議回数	4	4	4	4	4	4
地域状況報告提出件数	204	300	350	400	450	500
経営分析件数	25	30	35	40	45	50
専門家による相談件数 (定例・なんでも・ワンストップ・派遣)	150	180	200	250	300	300
需要動向調査件数	0	10	20	30	40	50

### Ⅲ. 事業計画の策定・実施支援【指針②】

事業者が経営課題を解決するため、上記Ⅰ.の経済動向調査、上記Ⅱ.の経営分析・需要動向調査等の結果を踏まえ、事業計画策定支援及び行政、長野県中小企業振興センター、関連機関等とも連携し、伴走型の指導・助言を行ない、小規模事業者の事業の持続的発展を図る。

(事業内容)

- (1) 事業計画策定等に関するセミナー、個別相談会の開催により、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行う。【指針②】
- (2) 個別相談、巡回指導時等に、小規模事業者からの相談等を受けるとともに、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行う。【指針②】
- (3) 事業計画策定を目指す小規模事業者の他、金融相談、国・県・市等補助金の申請時に事業計画の策定支援を行う。【指針②】
- (4) 事業計画策定後に、国、県、市の行う支援策等の広報、案内により周知し、フォローアップを実施する。【指針②】

(5) 事業計画策定後に、必要に応じて(最低3カ月に1度)巡回訪問し、進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行う。【指針②】

(6)経営計画の策定の助言、フォローアップ等を受ける小規模事業者の金融相談に対し、「小規模事業者経営発達融資制度」の説明、斡旋と、経営指導員によるその後のフォローアップを行い、持続的な経営力強化を図る。【指針②】

(目標)

小規模事業者の事業計画を策定し、事業の実施支援を行うため、下記数値を達成する。

支援内容	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
セミナー・説明会開催回数	3	5	6	6	6	6
事業計画策定事業者数	30	40	50	60	70	70
策定事業者フォローアップ件数	0	160	200	240	280	280

#### IV. 創業・第二創業(経営革新)・事業引継ぎ支援【指針②】

長野県地域における開業率は都道府県別45位に位置し、起業マインドは低い。そこで、ベンチャー企業家の講演会・意見交換会を開催し、「企業を目指す層」の発掘・拡大を図る。更に、創業希望者に対し、創業コーディネーター・経営指導員による創業支援窓口を常設し、創業手続き・事業計画書(動機・目標・受注・仕入計画、ターゲットや市場ニーズ、資金計画など)の策定について支援を行う。個々の創業事業者ごとに創業支援カルテを作成し、上田市、AREC、ハナラボ、地域金融機関等と連携して、販路開拓等も含めた総合的な伴走型支援を下記により実施する。

(事業内容)

- (1) 現在低水準にある起業マインドを高め、早期に起業準備が整えられるよう、ベンチャー企業等の起業家の講演会・意見交換会を開催し、「起業を目指す層の拡大」を図る。【指針②】
- (2) 創業希望者に対し創業塾(1セット 5日程度想定)を開催し、創業希望者の知識向上を図り、個別の創業計画策定支援を行う。【指針②】
- (3) 創業後は、経営指導員の巡回による個別フォローアップ、専門家によるフォローアップ、税務相談を重点的に行い、伴走型の支援を行う。【指針②】
- (4) 第二創業(経営革新)に関する相談窓口を開設し、第二創業(経営革新)計画の策定を支援し、第二創業(経営革新)支援を実施する。【指針②】
- (5) 円滑な事業承継の実現に向けて、セミナーを開催し制度の周知を図ると共に、長野県事業引継ぎ支援センター、地域金融機関等とも連携しながら、事業引継ぎに関する様々な課題解決を支援する。【指針②】

(目標)

創業希望者、第二創業希望者並びに事業承継希望者のため、下記数値を達成する。

支援内容	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
講演会・意見交換会開催回数	1	1	1	1	1	1
創業スクール(塾)開催回数(セット)	1	2	2	2	2	2
創業支援者数	11	13	15	17	20	20
創業フォローアップ件数	11	13	15	17	20	20
第二創業(経営革新)相談件数	3	5	5	7	7	10
事業承継セミナー開催回数	1	1	1	1	1	1
事業承継個別相談件数	1	3	5	7	10	10

## V. 小規模事業者販路開拓支援【指針④】

地域小規模事業者における販路開拓に資するため、当地域における産業展、商談会を開催する。また、他地域で開催される大規模な工業技術展示会において、当地域の企業が有する優れた技術力の認知度の向上と販路拡大を支援する。

(事業内容)

- (1) 長野県東信地域において、地域三商工会議所(上田・小諸・佐久)及び市内2商工会と連携して産業展及び商談会を開催し、販路開拓を支援する。【指針④】
- (2) 上田市、上田市商工会・真田町商工会と連携し、大規模な工業技術展示会である「諏訪圏工業メッセ」やビジネスマッチングの展示会等において、出展企業の販路開拓等の支援を行う。【指④】
- (3) 新商品(製品)・新サービス合同プレス発表会をメディア向けに開催する。【指針④】
- (4) 商談会や展示会情報、合同プレス発表会等の情報提供を上田商工会議所のHP、会報等で行い、認知度アップを図る。【指針④】
- (5) 合同プレス発表会で発表された新商品・新サービスと事業所の情報を、上田商工会議所のHP、会報等に掲載し、販路開拓やマッチング支援に結び付ける。
- (6) インターネット等による販路開拓を目指す小規模事業者等に向け、IT活用による販路開拓セミナーを開催し、個別の課題等については専門家等による個別相談会や専門家派遣制度の活用により支援を行う。

(目標)

下記の事業を推進する

項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
産業展(商談会同時)開催回数	1	1	1	1	1	1
バイヤー来場者数	3	10	15	20	25	30
展示会・ビジネスマッチング等参加回数	未実施	2	2	2	2	2
展示会・ビジネスマッチング等出展支援者数	未実施	10	10	15	15	20
合同プレス発表会開催回数	3	3	4	4	6	6
ITセミナー開催回数	1	2	2	2	2	2
IT活用の専門家相談件数	1	3	5	7	10	10

## 2. 地域の活性化に資する取り組み

### I. 地域活性化事業

当所、上田市、上田観光コンベンション協会、JA 信州うえだ等関係団体で組織する「信州上田まつり実行委員会」を中心に検討会議を計4回行い、今後の地域活性化の方向性を検討する。また、検討した地域活性化の方向性を踏まえ、「上田ブランド」「真田ブランド」の確立と観光誘客による地域内回遊と消費の増加を目的にした「上田城千本桜まつり」等を開催し、観光関連業や中心商店街、飲食業、食品製造業等の売上増加による地域活性化を図る。

(事業内容)

- (1) 当所、上田市、上田観光コンベンション協会、JA 信州うえだ等関係団体で構成する「信州上田まつり実行委員会」を計4回行い、会議において、「観光関連業」等を中心とした地域の活性化の方向性について検討し、イベントを開催する。
- (2) 地域の特色を前面に出した「飲食業」や「地場産業」のPR、消費拡大を目的としたイベントを、上田城址公園において、「上田城千本桜まつり」と「上田城紅葉まつり」内で市内飲食店や食品

製造業者等と連携して実施する。

- (3) 上田市、上田観光コンベンション協会等と連携し、姉妹都市等における物産展に参加し、地域の魅力や地場産業、商品等のPRを行う。
- (4) ∞全国展開プロジェクト等当所が中心となり、地域内観光資源等のブラッシュアップを行うとともに、これら資源を活用した観光ルートを地域事業者等と連携して開発し、地域内回遊の増加による賑わい創出を図る。
- (5) 地域色豊かな商品開発を事業者とともに進め、「上田ブランド」「真田ブランド」確立を図る。
- (6) 周辺地域等との広域連携による観光ルート開発等に参画し、観光誘客による地域に回遊の増加と消費拡大を図る。
- (7) 中心商店街と連携し、イベント開催による賑わい創出と消費拡大を図る。

(目標)

上田城址公園内でのイベントを下記のとおり開催する。

項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
開催回数(千本桜・紅葉まつり)	2	2	2	2	2	2
出展者数	10	13	15	18	20	20
来場者数(イベント来場者のみ)	10千	13千	15千	17千	18千	20千

### 3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

#### I. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ①東信地区の支援機関(上田・小諸・佐久各市、三商工会議所、AREC、上田信用金庫)で構成する長野県東信地域中小企業支援プラットフォームにおいて、地域の中小企業の現況、課題、支援状況、支援課題等の情報を共有し、連携して小規模事業者の経営発達に資する支援を推進する。
- ②東信地区三商工会議所の広域連携による「広域専門指導員」を配置し、各会議所の経営指導員等と情報を共有し、連携して小規模事業者の経営力強化支援や創業、事業承継等について取り組み、新たな需要創出を図る。
- ③上田市内三商工団体(上田商工会議所、上田市商工会、真田町商工会)連携会議において、上田商工会議所が中心となり、小規模事業者の支援ノウハウや現状、課題等について情報交換を行い、産業展や商談会、海外展開等のセミナーを開催し、新たな需要の開拓を進める。

(目標)

支援機関や地域商工団体等との連携による経営発達支援事業の推進のため、下記数値を達成する。

内容	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
東信地域中小企業支援プラットフォーム	3	3	3	3	3	3
三商工会議所相談所長会議	3	4	4	4	4	4
三商工会議所経営指導員会議	2	2	2	2	2	2
市内三商工団体会議	3	4	4	4	4	4

#### II. 経営指導員等の資質向上等に関すること

日本商工会議所、長野県が主催する研修の参加に加え、東信地区三商工会議所での研修及び中小企業大学校等関係団体が主催するセミナーや短期研修等に経営指導員が年間3回以上(中小企業大学校の主催する1か月研修は年1名)参加することで、売上げや利益を確保することを重



視した支援能力の向上を図る。

さらに地域経済状況等の情報を共有するため、上田市内3商工団体連携会議や日本政策金融公庫等の研修会等を通じ、支援能力向上を図る。

また所内では「指導員勉強会」を年12時間以上開催し、補助員、一般職員も参加して組織内で経営指導員のノウハウを共有する。

若手経営指導員については、事業所訪問や個別相談等において、ベテラン経営指導員とチームで小規模事業者を支援すること等を通じて、指導・助言内容、情報収集方法を学ぶなど、OJTにより伴走型の支援能力の向上を図る。

### Ⅲ. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

毎年度、本計画に記載事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証する。

- ①中小企業相談所において、経営発達支援事業計画に基づいた年度の目標を設定し、事業を推進する。
- ②2か月に1度相談所内会議を開催し、事業の進捗状況を確認し、見直し等を図り、会議結果を踏まえ事業を推進する。
- ③指定中小企業診断士、会議所監査員(ともに当所会員)及び上小地方事務所商工観光課、上田市商工観光部を外部有識者として、事業の実施状況と成果の評価、見直し案の提示を行う。
- ④上記の評価及び見直し案について、所内役席会議において決定し、正副会頭会議において事業の実施状況、成果の評価、見直し案を報告し、承認を受ける。
- ⑤常議員会、議員総会において、事業の実施状況、成果の評価、見直し案を報告し、承認を得る。
- ⑥事業の成果、評価、見直しの結果を上田商工会議所のホームページ(<http://www.ucci.or.jp>)で計画期間中公表する。

(別表2)

経営発達支援事業の実施体制

経営発達支援事業の実施体制	
	(平成27年1月現在)
(1)組織体制	
事業実施体制	
①上田商工会議所中小企業相談所(産業振興課)	
相談所長 1名、経営指導員 6名、補助員 3名、その他職員 2名、 農商工連携・創業支援コーディネーター1名	計 13名
②上田商工会議所の内部体制	
専務理事 1名、事務局長 1名	
総務課 庶務係長以下 6名	
中小企業相談所(産業振興課)	
相談所長 1名、相談所次長 1名、産業振興課長 1名、 経営指導員 4名、補助員 3名、職員 2名、コーディネーター1名	
嘱託等 ジョブ・カード制度普及推進員 2名、上田職業安定協会事務局長 1名、 大河ドラマ「真田丸」関連事業アドバイザー1名、会館管理業務員 1名	
	計 26名
(2)連絡先	
上田商工会議所 産業振興課	
住所: 386-8522 長野県上田市大手 1-10-22	
電話: 0268-22-4500 FAX:0268-25-5577	
E-mail:info@uccci.or.jp URL: http://www.ucci.or.jp	

(別表3)

経営発達支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

	平成26年度 (予算)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
必要な資金の額	125,760	125,760	125,760	125,760	125,760
中小企業相談所	84,340	84,340	84,340	84,340	84,340
市民祭協力費	4,550	4,550	4,550	4,550	4,550
地域産業展開催費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
経営革新等推進事業費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
商工団体連携事業費	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
消費税転嫁対策事業費	950	950	950	950	950
元気づくり支援金事業費	600	600	600	600	600
一般事業費(部会活動費等)	26,370	26,370	26,370	26,370	26,370

(備考)必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

調達方法

会費収入、特定商工業者負担金、検定事業収入、事務受託手数料等  
国補助金（ジョブカード助成金、消費税転嫁対策補助金等）  
県補助金（小規模事業経営支援事業費補助金、元気づくり支援金）  
市補助金（商工業振興補助金、上田市商工団体連携事業補助金）  
事業受託費

（備考）調達方法については、想定される調達方法を記載すること。

(別表4)

商工会及び商工会議所以外の者と連携して経営発達支援事業を実施する場合の連携に関する事項

連携する内容
1. 1-Ⅲ事業計画策定・実施支援【指針②】 2. 1-Ⅳ創業・第二創業(経営革新)・事業引継ぎ支援【指針②】 3. 1-V小規模事業者販路開拓支援【指針④】
連携者及びその役割
・長野県 県知事 阿部 守一 (担当:上小地方事務所 所長 藤森靖夫) 住 所 長野県上田市材木町 1-2-6 電話番号:0268-23-1260 ・上田市 市 長 母袋 創一 (担当:商工観光部 部長 関 恵滋) 住 所 長野県上田市大手1-11-16 電話:0268-22-4100 ・信州大学繊維学部 学部長 濱田州博 住 所 長野県上田市常田3-15-1 電 話:0268-21-5300 ・小諸商工会議所 会 頭 香坂 勝 住 所 長野県小諸市相生町 3-3-12 電話:0267-22-3355 ・佐久商工会議所 会 頭 檜山 徹 住 所 長野県佐久市中込 2976-4 電話:0267-62-2520 ・上田市商工会 会 長 久保山 修 住 所 長野県上田市上丸子 950 ファーストビル 2 階 電話:0268-42-2213 ・真田町商工会 会 長 若林 正徳 住 所 長野県上田市真田町長 7199-1 電話:0268-72-4050 ・青木村商工会 会 長 岩下勇雄 住 所 長野県小県郡青木村大字田沢13-1 電話:0268-49-3651 ・(一財)浅間リサーチエクステンションセンター(AREC) 理事長白井汪芳 住 所 長野県上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 電 話:0268-21-4377 ・ハナラボ(運営主体(一社)ループサンパチ) 代表理事 井上琢磨 住 所 長野県上田市常田2-27-17 電 話:0268-75-586 ・日本政策金融公庫長野支店 事業統括 藤川賢一 電 話:026-233-2141 住 所 長野県長野市大字三輪三輪田町 1291 ・長野県信用保証協会上田支店 支店長 鈴木隆明 電 話:0268-22-5914 住 所 長野県上田市天神 3-4-8 ・(株)八十二銀行上田支店 執行役員支店長 須崎 修 電 話:0268-24-1182 住 所 長野県上田市中央2-2-12 ・(株)長野銀行上田支店 支店長 小出和幸 電 話:0268-24-3000 住 所 長野県上田市中央3-目2-23 ・長野県信用組合上田支店 支店長 滝澤雄二 電 話:0268-22-7255 住 所 長野県上田市常田 2-36-1 ・上田信用金庫 理事長 小林 哲哉 電 話:0268-22-6260 住 所 長野県上田市材木町1-17-12号 ・(株)三井住友銀行上田法人営業部 部長 軽部 浩史 電 話:0268-22-5550 住 所 長野県上田市中央 2-1-18

- ・(株)群馬銀行上田支店 支店長 島田 直樹 電 話:0268-26-2237  
住所 長野県上田市中央西2丁目1-16 東海上田ビル
- ・金丸中小企業診断士事務所 代表 金丸修一 電 話:0268-81-2218  
住所 長野県坂城町上平1545-2
- ・税理士法人小山会計 代表 小山秀喜 電 話:0268-22-7615  
住所 長野県上田市古里692-2
- ・関東信越税理士会上田支部 支部長 横沢 正 電 話:0268-22-8535  
住所 長野県上田市大手1-10-22

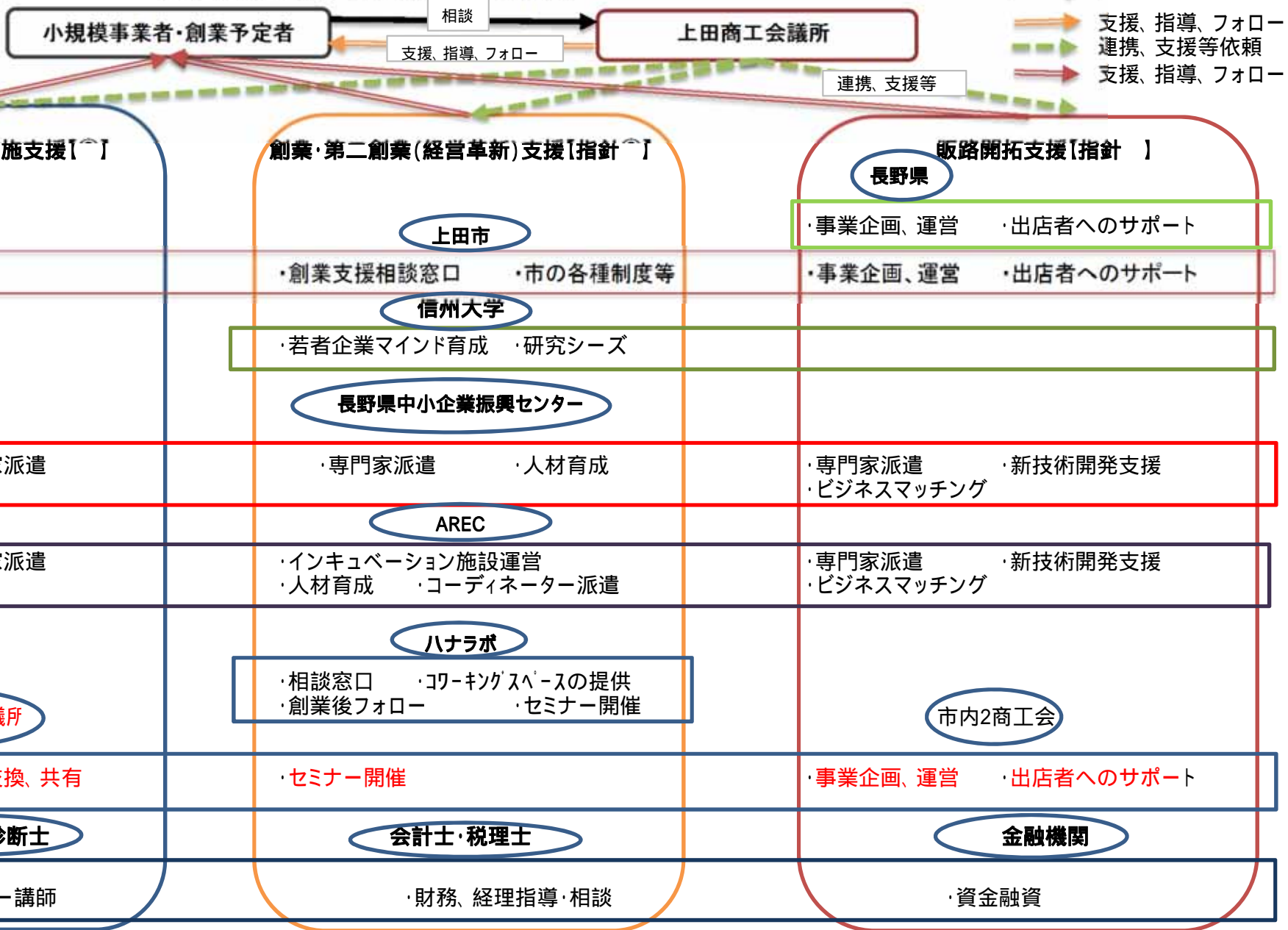
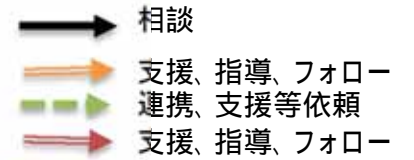
※連携者の役割は、別図1のとおりです。

連携体制図等

別図1のとおり

別図 1

経営発達支援事業連携体制図



中小企業診断士、会計士・税理士、金融機関は、各事業全てに対応する。